各モールとの連携 futureshop futureshop 注文データ同期 書出し 自動書出し

【futureshop】GoQからfutureshopへの注文データ同期方法

futureshop注文データ同期方法

＜自動での注文データ同期方法＞
※自動での注文データ同期には「APIオプション」のご契約が必要となります。

APIオプションご契約済みの方

【1】[各種設定]をクリックします。
【2】[モール詳細設定]をクリックします。
【3】出店中のモール一覧から[futureshop]をクリックします。

【4】APIアクセス設定「自動書き出し」にチェックを入れます。
【5】API書出より、下記いずれかを選択して下さい。
・【処理済み】のみ：処理済ステータスのみ
・【処理済み】以外も書き出す：「新規」「キャンセル」を除く全ステータス
【6】書出し時にfutureshop側の注文ステータスを「処理済み」に更新するかしないかを選択します。
【7】[設定を保存して次へ進む]をクリックします。

以上の方法で、自動での注文データ同期設定が完了となります。

■書出し対象
【5】で指定をしたステータスにある下記条件を満たした注文
・GoQSystem上での最終更新日が4日以内の注文
・注文日が170日以内の注文

■更新される項目
・出荷日
・伝票番号
・ステータス更新 ※1
・到着予定日
お届け指定日が入っていたらお届け指定日が入ります。
お届け指定日が指定なしの場合は空欄になります。

※1 ステータス更新は、書き出し対象の注文のうち、GoQSystem上ですでに「処理済み」ステータスになっている注文のみが対象となります。
それ以外のステータス（出荷済み・出荷準備中など）の注文は、配送情報（発送日・伝票番号など）の送信が行われます。配送情報を受信したfutureshopは自動的に「発送済み」ステータスへ

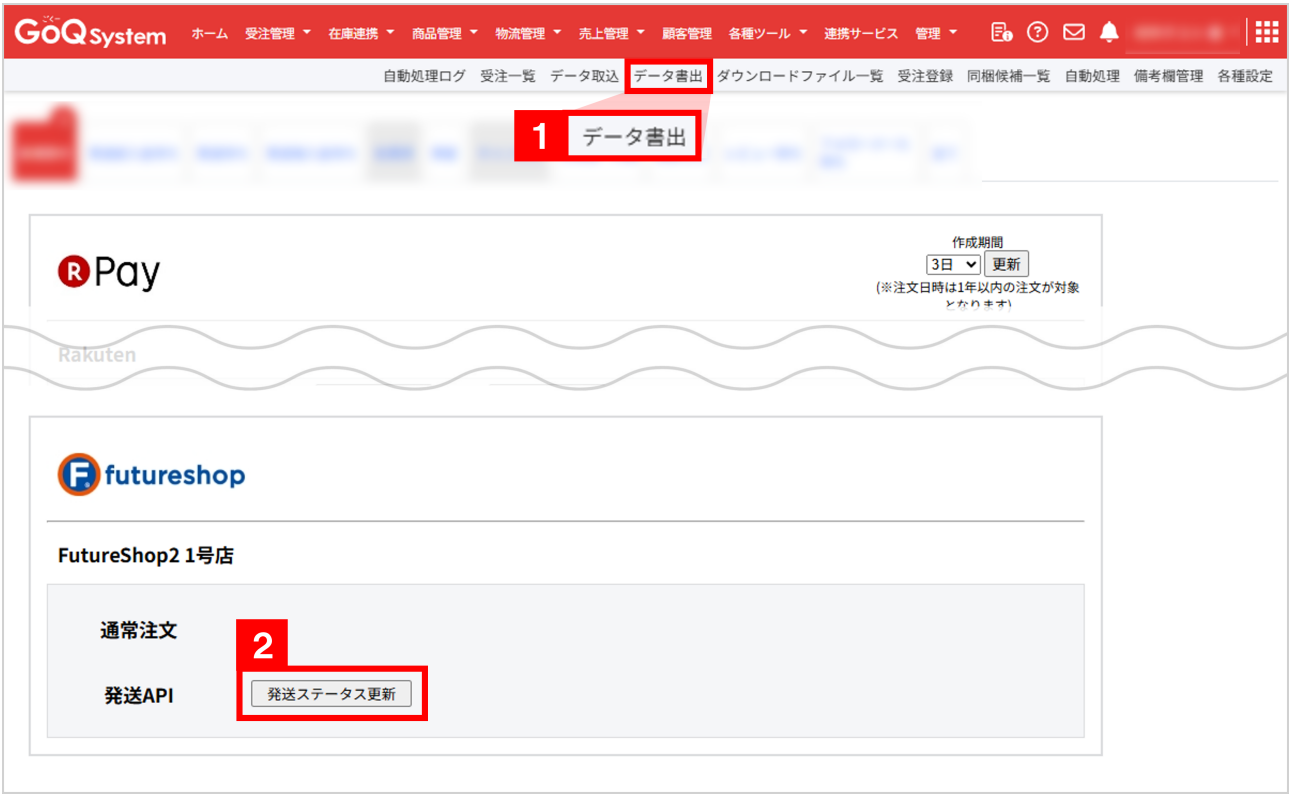
遷移します。GoQからfutureshopへの「処理済み」への移行は行われません。

APIオプションのご契約がまだの方

弊社宛にお電話（03-4446-6259）またはお問い合わせフォームよりご連絡下さい。

APIオプションの費用は下記となります。
・初期費用：10,000円（税別）
・月額費用：5,000円（税別）

＜手動での注文データ同期方法＞



【1】「データ書出」をクリックします。
【2】futureshopの[発送ステータス更新]をクリックします。

以上の方法で、手動での注文データ同期が完了します。

■書出し対象
【各種設定＞モール詳細設定＞APIアクセス設定＞API書出】で選択したステータスにある
下記条件を満たした注文
・GoQSystem上での最終更新日が4日以内の注文
・注文日が170日以内の注文

■更新される項目
・出荷日
・伝票番号
・ステータス更新 ※1
・到着予定日
お届け指定日が入っていたらお届け指定日が入ります。
お届け指定日が指定なしの場合は空欄になります。

※1 ステータス更新は、書き出し対象の注文のうち、GoQSystem上ですでに「処理済み」ステータスに
なっている注文のみが対象となります。

それ以外のステータス（出荷済み・出荷準備中など）の注文は、配送情報（発送日・伝票番号など）の送信が行われます。配送情報を受信したfutureshopは自動的に「発送済み」ステータスへ遷移します。GoQからfutureshopへの「処理済み」への移行は行われません。

※下記必ずお読みください※

ポイント有効処理設定についてfutureshop管理画面のポイント有効処理設定にて「処理済時に有効」および「発送済み時に有効」としている場合は、APIでステータス移動を行ってもfutureshop側ではポイントが有効になりません。

弊社では【1】を推奨設定としています。
【2】【3】の場合はAPIでは更新されないため、手動で有効処理を行ってください。

・ポイント有効処理設定マニュアル
https://www.future-shop.jp/manual/settings/pointGeneral.html#available_point
・有効処理マニュアル
https://www.future-shop.jp/manual/operate/point/opt-PointStatusOperationForward.html

ポイントの有効か処理設定を「処理済み時に有効」「発送済み時に有効」以外で選択されている場合は設定不要です。